

# 新小岩支部定期大会開催さる

1月26日

## 日刊 勤労千葉

80.1.29

No. 336

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
鉄電二二五八九(公衆電話)七二〇七

一月二六日、勤労千葉新小岩支部廿二回定期大会が秋田区講習室において開催された。12時30分、大会は八木支部乗務員分科会長の力強い開会の挨拶で開始され、議長に構内運転分科・島田氏を選出して議事に入った。

### 支部防戦の勝利にふまへ、更に大きく飛躍しよう、 「松崎執行委員長挨拶」

冒頭挨拶に立った松崎支部執行委員長は、「昨年4月21日、650名もの本部暴力オルグ団の妨害をうち破って支部結成を勝ちとつて以降、出先や家庭にまで入り込んだ「オルグ」と闘いながらの一年間は並大抵ではなかった。しかし九ヶ月間「本部側に行っていた竜崎君もこうして復帰して今日才二回の支部大会が開催できたことを皆さんと共に喜びたい。激動する世界情勢をうけて80年代は大変な時代を迎える。職場的にもジェット、35万人体制攻撃での一層の対決は不可避である。卒直な討論を通して80年代の荒波を乗り切る体制を築こう」と、支部員162名の一層の団結を訴えた。

本部より来賓出席した中江昌夫氏、中野書記長、水野財政部長、岡総務部長を代表して中江氏中野書記長が挨拶に立った。また、東京都葛飾区社会党石井副委員長、葛飾区労協鈴木事務局次長がかつつけ新小岩支部の健闘をたたえ、80春闘地区共闘、参院選等、より一層の共闘体制の強化を訴え、全体が熱い拍手でこれにこたえていった。

### 反合・取場要求等で活発な質疑討論

武井副執行委員長、若林書記長はじめ支部執行部、山口会計監査員より各々経過報告、決算、監査報告、運動方針案の提案をうけ、活発な討論が展開された。ち満場一致の拍手のうちに採択された。

質疑討論は主に反合・取場要求・交渉事案に集中した。主なものは、

- ①「整備の民託化」阻止闘争について
- ② 検修・構運取場に拡大している技術断層問題
- ③ 総合的委員配置改善について
- ④ 巨下65の養成問題について

- ④ 「予科」と「一般採」の士取登用の順序が逆転する問題の改善について
- ⑤ 事務係の労働条件改善の要求について
- ⑥ その他、「リムパック」に見られる急激な軍事大圏化・戦争政策に反対する労働運動の方針について」「80春闘の展望と共闘体制の問題について」

等々が出され、各々本部・支部執行部側からの答弁を確認し、方針案を満場一致の拍手で確認した。

その後大会は「勤労千葉新小岩支部の諸規則制定」についての提案を若干の討論と修正の後採択、続いて今年度会計監査員として大田氏(再)・小川氏(新)を選任し、新旧役員挨拶で議事を終了し、小倉青年部長の指揮で組合歌合唱、松崎執行委員長の音頭による団結ガンパローをもって終始熱のこもった支部大会をしめくくった。

### いざ80年代へ！攻勢の気風みなぎった支部大会

今回の支部大会は昨年一年間全員一丸となって支部を「守る闘いに勝利した誇りと自信に満ちあふれ、80年は反合・三里塚・ジェットをこちから攻めよう」との攻勢的気風をみなぎらせた大会であった。東京都の一面にガッカリと食いつみ雪崩うつ貨物合理化攻撃に毅然と対決し闘いぬいている新小岩支部の底力を感ぜさせる大会であった。

確認された役員	執行委員長	松崎 靖(株南士)
	副	武井明道( )
	書記長	若林 寛( )

### 80春闘千葉活動家集団学習会 南の

一月二五、二六日、鴨川市民会館に於て、標題の集会が、下の公労協民向あわせて32単組、10地区労友の参加で開催された。オ一日は、中央春闘共闘三嶋総評共闘局長よりの提議報告、泉春闘共闘清水泉労連事務局局長よりの「問題提起」を中心に進められた。

オ二日は、会場を吉田屋本館に移して三つの分科会①地域共闘と反合闘争 ②雇用と制度要求 ③賃金と最賃闘争が開かれ、最後に全体集会をもって熱心な討議をしめくくった。勤労千葉からは、本部・千葉軌・木更津・館山・勝浦の各支部より代表者名が参加した。メトなく春闘打破にむけ奮闘しよう、